

平成29年度第1回「恵庭市史編さん委員会」会議録

日 時：平成29年6月2日（金） 10：00～10：50

場 所：市役所（3階）301、302会議室

出席者：＜委 員＞ 北越会長、山田副会長、江里口委員、曾根委員、高橋委員、中泉委員、
平中委員、宮田委員、山口委員
（欠席者）村上委員

＜事務局＞ 浅香企画振興部長、大槻企画振興部次長、
渡辺広報課長、高橋市史担当主査、山田非常勤

＜委託事業者＞ 対馬、村上、佐藤

傍聴者：1名

1. 開 会

議事の前に、大槻次長より4月の人事異動で着任した委員会事務局長の浅香企画振興部長、渡辺広報課長、山田非常勤を紹介。

2. 会長挨拶（要旨）

昨年度は事業計画に基づき執筆者の確定、サンプル原稿、年表準備原稿の校正を行ったが、今年度から執筆原稿の校正が始まる。本日の議題は「平成28年度事業報告」及び「平成29年度事業計画（案）」の審議、また「恵庭市の概要」と「都市間交流」の初校原稿の内容確認である。これらについて意見をいただきたい。

※議事に入る前に、大槻次長より村上委員の欠席を報告。

3. 報告事項

北越会長が議長となり、議事を開始。

(1). 報告事項 平成28年度事業報告について

- ①. 編さん委員会の開催
- ②. 市史編さん事務の推進
- ③. 市民の理解と協力の取り組み

以上について、事務局より資料に基づき説明があり、一同承認。

4. 議 事

(1). 協議事項1 平成29年度事業計画（案）について

- ①. 編さん委員会の開催
- ②. 市史編さん事務の推進
- ③. 市民の理解と協力の取り組み

以上について、事務局より資料に基づき説明があり、一同承認。

(2). 協議事項 2 原稿の校正について

- ①. 第 1 編「自然・地勢」第 1 章「恵庭市の概要」
- ②. 第 1 2 編「まちづくりと市民活動」第 5 章「都市間交流」

事務局より、原稿の確認方法及び上記①・②の順で確認いただきたい旨の説明があり、一同承認。

《第 1 編「自然・地勢」第 1 章「恵庭市の概要」の確認》

■地勢について

- ①. 「市域を南北に縦貫する国道 3 6 号」とあるが、現在は道道や J R 千歳線も入り組んでいるので、国道の記載だけでは説明不足。「線路を挟んで東西」など、現状に即した説明に改める。
- ②. 標高について……既刊市史同様「春日」及び、演習場内の「桜森」の標高が記述されているが、恵庭市内で最も低い標高として選定された北島遊水池などもあることから、現状に即した地点の標高に改める。
- ③. 現代的な用字用語、新しいデータで記述されて良い。今後の原稿もこの方法を心がけること。
- ④. 今後も、全編を通して、①・②の指摘にあるように、現状に即した市民が受け止めやすい内容に精査を行うこと。

《第 1 2 編「まちづくりと市民活動」第 5 章「都市間交流」の確認》

■都市間交流について（前市史には記載されていない部分）

- ①. 平成 2 8 年 1 1 月の大井川農協と J A 道央による事業提携を市史に掲載する。
- ②. 日中友好協会の活動は現在昔ほど活動をしていないが、貴陽市との交流は歴史あるものなので、記載されていて良い。

■都市間交流の章中の年表について

- ①. 毎年行われている交流は、内容を精査して重複しないようにし、本文で補完できないかを検討し記述する。

■年表のあり方と、市史に採用する出来事の記述期限について

- ①. 同様の交流や定期的に行われている交流は、重複を避ける。
- ②. 市史編さんに際して、記述期限を設けることとし、その期限は、ここ 1 . 2 年の経緯を見ながら判断する。また、市史の凡例等に「平成〇〇年〇〇月までの事項について記載」等の一文を書き添える。

■市史年表と章中年表について

- ①. 章中年表がある場合、市史年表の記載を「この年から、〇〇町との交流が始まる」程度の記載に止めることで、市史年表の項目をさらに削除できる。

5. その他 次回編さん委員会は 1 1 月を予定。

6. 閉 会